

前回の課題文章につけられた吹き出しコメントを読んだ。→はい

* スマートフォンやタブレットでは、吹き出しコメントが表示されない場合があります。その場合はパソコンで確認してください。

前回の模範文章を読んだ。→はい

(当てはまる回答だけを残してください。評価には含めません。指導の参考にします。)

【第4回】

学校給食は必要とされる理由

—母親と子供の視点から—

XXXXXXXXXX
XX XX

全国には、給食制と弁当制の学校が存在する。しかし、多くの学校では給食制である。

本レポートの目的は、その理由が何なのかを探っていくことである。

学校給食によって一番利益を受けるのは、母親である。お弁当を作るには、多くの時間が必要である。しかし、朝は忙しい時間帯であり、お弁当作りは大きな負担になる。もし、給食制になれば、お弁当を作る必要がなくなる。つまり、母親の負担が減る。さらに、日本は共働き家庭が多い。したがって、給食制の需要は高いと推測される。さらに、学校給食は子供達にとっても有益である。給食であれば、温かいご飯やみそ汁、おかずが提供される。すなわち、出来立てに近い状態のものを食べることができる。冷たいご飯より、温かいご飯の方がおいしいと感じる。しかし、お弁当の場合は、保温できるお弁当箱を使わない限りは、食べる頃には冷たくなってしまう。また、給食を通して、配膳の仕方や食べ残しをしてはいけないということを学ぶことが出来る。

ここまで学校給食がもたらす利益について考えてきた。学校給食は、母親と子供の両方に利益をもたらす。これが、学校給食が多くの学校で必要とされる理由である。

- 作業1 序論部分で、文章の目的(または問い)に当たる部分を太字で示しましょう。
(太字にする方法 太字にしたい語句を選択しておき、コントロールキー[Ctrl]+B)
- 作業2 本論部分で、中心文(もつとも述べたい事柄)を太字で示しましょう。
- 作業3 結論部分で、問いに対する答えに当たる部分を太字にしましょう。
- 作業4 太字にしたところを続けて読みましょう。内容がずれていませんか。ずれていたら修正しましょう。

コメント欄

序論で建てた問いと結論の問いに対するする答えがずれないように気を付けました。接続詞も積極的に利用することも心掛けました。

コメントの追加 [91]: 【⑥主題と副題】○主題と副題を、テーマと視点で示すことで、読者にレポートの内容が伝えることができました！

コメントの追加 [92]: 【①序論・本論・結論】○序論・本論・結論の3つの構成を作ることができました！構成が分かりやすいため、読みやすい文章になっています。

コメントの追加 [93]: 【②目的を述べる】○目的は「多くの学校が給食制である理由」ですね！

コメントの追加 [94]: 【③目的の達成】○青マーカーの部分で、「給食制である理由」を母親と子供の2つの視点から述べることができました。目的以外の余計な記述もなく、学術的文章にふさわしいです。

コメントの追加 [95]: 【④本論の要約】○本論であげた、「母親の利益」と「子供達の利益」を要約できました。そのため、読者に主張が伝わりやすいです。

コメントの追加 [96]: 【⑤序論と結論の呼応】○目的と答えを、呼応させることができました。そのため、論旨にブレがないため、読者を混乱させることはありません。

コメントの追加 [97]: 問いと答えにブレがなく、接続表現もふんだんに使われているため、とても読みやすい文章になっています。いろいろな授業があるなかで、大変だと思いますが、この調子で次回以降も頑張って取り組んでください。

評価のポイントと評価点

指導員（ XX XX ）

- 1／1 点 ①序論部分・本論部分・結論部分に分けられている。
- 2／2 点 ②序論部分で目的が述べられている。
- 2／2 点 ③本論部分で、序論部分で述べられた目的が達成されている。
- 2／2 点 ④結論部分で本論部分の内容が要約されている。
- 2／2 点 ⑤序論部分と結論部分が呼応している。
- 1／1 点 ⑥主題と副題の関係を自覚して題がつけられている。
- 2／2 点 ⑦前回までに学習した内容が反映されている。
- 1／1 点 ⑧コメント欄を使い、指導員とコミュニケーションをはかっている。
- 13 点満点

〔 13 点中 13 点〕